

死しての止む慢性的痼疾である。
この大恐慌に直面した世界資本主義は、この難局を切抜
けて資本主義の安定を恢復せんとするに、敗戦口と殖民的
地位に、その労働者を苦力の地位に引下げ、民族解放運動
と抗争しつゝ、一層の殖民地榨取に努力した計りでなく、又
の最大の力こ自口労働階級の生活水準の低下を強制し注い
だ。労働時間延長、労働賃銀の切下げ、失業群の純出
一線、資本の攻勢は開始された。かくて各口労働階級
は、この金融力と拳がてら必死の抗争を余議なくされた。
かの独逸に於ける十四年に重人とする政治的統一同盟罷工、英
口に於ける数回の大炭坑争議、全属土争議、米口に於ける
炭坑争議、更に各口労働組合統一運動及びモスコとアム
スルダム両労働階級組合インターナショナル間の統一運動等
は、這般の事情を物語るものである。實に既往の資本主義
の暴走特に戦争中に於て齎らされた資本の集中による資本
家の組織——トラスト、シンダケート、コンバイン、カル

テル——と、それと救護し、その手中にある資本主義的寡
頭独裁政治に對抗して労働階級が勝利を獲得するの可能
性は一に懸って各口に於ける確立と統一インターナシヨナ
ルの樹立のみである。然しこの戦線統一の運動は資本家階
級也その政府の差宣傳と防害と、これに呼應する前期各口
主義時代に殖民地榨取の可成パンにこつて糾はれた各口
の労働貴族、労働官僚、墮落幹部の分裂政策と計画的陰謀
によつて妨げられ、労働戦線は依然として分立のまま、に
殊さ北、労働階級は急務にもせよ治水準の方悪化に委され
る。獨逸の労働者は二時間労働を強制され、各口に
於て失業者は益々増えしつゝある。かゝうにして資本の攻
勢は部分的に成功した。近來の資本主義の安定と称するも
のは、労働者の犠牲によるか、る種々の安定である。それ
は恒久的の安定と區別すべき純粹なる一時的安定であつて、
云はば可成頻死の資本主義の一朝の鬼直しであり、瞬時に
して再びより深き昏睡に陥るべき性質のものである。この